

2018 年度

ロシアコース短期留学報告書

留学先：ウラジオストク国立経済大学

留学期間：8月28日（火）～12月27日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21017005
飯田 聖羅

目次

1. 留学先及び留学期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学目的	3
4. 留学内容	4
4-1 留学の授業スケジュール及び各教科の概要	4
4-2 留学の詳細	6
5. 所感	6
謝辞	6

付録

イベント記録	7
--------	---

1. 留学先及び留学期間

留学先：ウラジオストク国立経済大学

研修期間：平成30年8月28日（火）～平成30年12月26日（金）

*帰国は12月27日（木）

2. 留学先概要

(1) 大学について

ウラジオストク国立経済大学は、ロシアのウラジオストクという都市に位置する。ウラジオストクは人口約59.89万人、ロシアの主な港湾都市で中国と北朝鮮との国境近くに位置している。中央キャンパスは8つの学部を擁し学生数は1万5千人、またアスリート育成のための設備も整っているため、ロシアの学生のみならず世界各国からの留学生たちが学んでいる。この大学はウラジオストクにおける最高水準の教育機関の一つであり、ロシア国内全体の大学格付けでは550大学中63位、サービス業の専門家を養成する大学の格付けでは1位という評価を得ている。

(2) 大学で行われている教育・イベントについて

ウラジオストク国立経済大学の特徴は、学生たちが積極的に多くのイベントを開催するところと、多くの外国人留学生を受け入れているところにある。大学内では語学や建築だけでなく、理美容や美術、被服まで幅広い分野での専門家を育成しているということもあり、多くの学生が在籍しているが普段彼らと関わる機会はない。しかし、音楽祭やハロウィン、フリーハグデーなど様々なイベントを開催し学部や国の壁を越えて交流できる場が作られている。イベントを通して友人になったロシアの学生や他の外国人留学生たちと交流していく中で授業では学べない話し言葉や若者言葉といった文化を学ぶことができることはとても大きな強みだ。そのため大学自体がイベントの参加を推奨している。

3. 留学目的

ロシアへの留学の主な目的は異文化理解とネイティブスピーカーのロシア語を耳で経験し発音を学習することである。ロシアは広大な領土を誇る多民族国家である。したがって、民族の数だけ独自の文化が形成されており、それらが共存しているのが現代ロシアの姿であるといえるだろう。そして現地のロシア語話者たちの中には地域訛りを持つものも数多く暮らしている。大学で学べる四年間弱のロシア語学習ではそんなネイティブスピーカー達の発音に耳を慣れさせるのは不十分だと考えた。また、多様な文化が共存している社会と現代の若者文化を理解するためには現地で暮らす人々と実際に言葉を交わしながら理解を深めることが一番だと考え、留学に参加した。

4. 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

4-1 留学の授業スケジュール及び各教科の概要

グループ5 時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:30～10:00	文法	文章表現	読解	読解	会話表現
10:10～11:40	会話表現	リスニング	会話表現	リスニング	文法
11:50～13:20	昼食休憩				
13:30～15:00	地理	美術		音楽	歴史

○各教科の概要

・文法

格変化による名詞、形容詞などを重点的に学ぶ。書きながら文章を作るだけでなく、口頭での露問露答も頻繁に行い文法と同時に語彙力も鍛える。

他科目においても文法は学んでいくが、この時間が最も文法力の向上に力を入れている。

・会話表現

「医者に症状を伝える」「時間を聞く」「道案内」などの様々なシチュエーションで使う表現を実際に用いて行うレクリエーションを中心にロシア語を学ぶ。

また、ロシアの文化を学びながら、自国の文化や友人家族についてのプレゼンテーションも行うクラスもある。

・文章表現

ロシアでの手紙の書き方や感情の表現、受け取る人に合わせた文体や定型文、会話文の書き方など、文章を書く上での知識を学び、先生に添削してもらいながら正しい書き方を覚える。

・リスニング

聞き取った単語や文章を書きとり、細かい発音の違いを聞き分ける力をつける練習を。書き取りは毎回行い、その回で行った書き取りは次回テストをして評価をつける。

また、テキストを音読しながらイントネーションの練習と読解練習も行い、会話表現と同じく、自国の文化や身の回りの人についてプレゼンテーションを行うクラスもある。

・読解

長文読解とそれについての問いに答える作業を主に行う。長文を要約し口頭で説明したり、ポスターや感想文から要点を抜き出す練習もする。後半からはテスト形式の長文読解問題を個々で解き、グループ全員で答え合わせを行いながら学習した。

・地理

ロシア極東地域の地理を行う。地形や天然資源、動物、民族、気候帯などを地図と画像を用いながら学んでいく。

・美術

ロシアの芸術作品と芸術家、民族衣装を知識として学びながら、基本は出されたテーマに従って絵を描く。またマトリョーシカやハフラマの様な伝統工芸品の絵や模様を描くこともある。

・音楽

ロシア民謡や有名な曲を歌う。伝統的なロシアの楽器についても学び、実際に演奏を行ったり映像を鑑賞したりと、ロシア音楽と触れ合える機会が多い。

・歴史

テキストの内容に沿って、ロシア史上の偉人たちと逸話の主人公について学ぶ。長文読解後、設問に答え内容を要約する。その後映像資料で知識を深める作業を行う。

○テストの日程 (グループ5)

12月13日(木)…音楽

12月14日(金)…歴史

12月18日(火)…文章表現、美術

12月20日(木)…長文読解

12月24日(月)…文法、リスニング、地理

*文法、リスニング、会話表現、地理、音楽、美術では授業中に小テストを何度か行う。

4-2 留学の詳細

8月31日にテストが行われ、テスト結果とその後日本人留学生全員クラスでの授業の様子を見てクラス分けが行われる。(このクラスは韓国人留学生たちが到着するまでの間行われた)

9月半ばまではテキスト購入や学生登録、Wi-Fi 接続などの手続き関係が続く為出費が多い。前述したように留学中は大学構内以外でも数多くのイベントごとが催され、9月以降は授業とイベントの参加が主な活動となる。

*イベント記録は付録にて記述

5. 所感

このロシア留学は非常に有意義なものであった。目的としていた異文化理解とヒアリング力、発音は留学前と比べ大きく成長し、すべてのロシア留学へ参加した日本人たちは簡単な日常会話を可能にするレベルにまで成長する結果を出した。反省としては、留学前の学習不足が挙げられる。文法力や語彙力は日本でも十分鍛えられるものである。その為、留学前までに1年次の後期から2年次前期までの学習で得た知識をよく理解し、ロシア留学中に活用や応用など+ α を身に着けることが一番望ましい学習方法であったと考える。この反省点を活かし、今後はこの留学中に学んだ内容をよく理解しこれからも学んでゆくロシア語に繋げていくことが重要だと感じた。また、ロシアの文化だけでなく韓国やオーストラリアといった国の人々とも文化交流を頻繁に行えたという貴重な経験を無駄にしないためにも、さらに異文化理解を深めていきたいと考える。

謝辞

今回ウラジオストク国立経済大学でご指導いただいた先生方をはじめ留学を終えて帰国するまでの間、国際情報大学でサポートして下さった職員の皆様、ロシア語担当の先生方に深く感謝申し上げます。また、大学からの奨学金のおかげで素晴らしい留学生活を送ることができましたこと、心から感謝いたします。

付録：イベント記録（記録は一部）

9月2日…市内観光後ルースキー島へ



9月15日…トカレフスキー灯台へ



9月21日…ロシア人たちの日本語会話クラブに参加

9月27日…韓国学生と美術館へ行く





9月30日…虎の日



10月5日…全留学生とロシアの学生合同のレクリエーション



10月6日…サーカス観劇



10月12, 13, 14日…二大学合同体育祭



(10月14日同日紅葉狩り)



10月28日…マリンスキー劇場沿海州別館にてオペラ『カルメン』を観劇



11月3日…マリンスキー劇場沿海州別館にてバレエ『海賊』を観劇



11月5日…大学構内の音楽祭にてロシア音楽で扱った2曲を歌唱



11月17日…大学近辺の施設にて日本文化の展示とコスプレイベントが開催される

11月24日…ロシア音楽団のコンサートを鑑賞

12月8日…ウラジオストクホッケーチームの試合を観戦



12月14日…ロシア人たちの日本語会話クラブに参加
(ロシア人学生リザのバースデーパーティー)

12月24日…ウラジオストク郊外の公園へ遠足
チュービングやスキーなどが体験できる



12月25日…韓国の学生と共にロシアのクリスマス会、その後成績配布
クラスがあるのはこの日が最後

*この付録に掲載したイベントは一部のものであり、普段から留学生たちは個々で仲の良いロシアの学生や韓国の学生たちと観光、食事会を開き数多くの交流の場を設けていた。